

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2023年度第10回（1月）理事会議事録

- ◇日 時： 2024年1月11日（木）19時00分～20時05分
 ◇会 場： Web 会議併用（公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所）
 ◇出席者： （事務所参加）増田、上田、梶、山田、安保、岡本、上地、赤木、是永、堀田、佐藤、豊田、藪、竹村、喜舎場、柴監事、高田参与、竹浦参与
 （Web 参加）谷川
 ◇欠席者： 山西、久保田、井戸田
 ◇議 長： 増田

本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いに行えることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告（12月分）

日	行動内容	役員名
1	日臨技 近畿支部医学検査学会（第63回）打合せ	増田、梶、上田、安保 （Web）山田
1	大阪市衛生検査所精度管理立入調査	高田
2	大臨技 実務統計講座	山西
3	第18回府民健康フォーラム	増田、上田、山田、安保、上地、岡本、喜舎場、赤木、豊田、高田
5	学術部会	安保 （Web）上田、豊田、佐藤、竹村
6	第7回大臨技医学検査学会実行委員会	安保、佐藤、藪、是永 （Web）上田、豊田、喜舎場
6	大阪府衛生検査所立入調査	堀田
9	大臨技 実務統計講座	山西
9	第14回南地区地域オープンセミナー	増田、上田、谷川、是永

10	タスク・シフト/シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会	谷川、豊田、藪、是永、赤木、堀田
10	臨地実習指導者講習会	上田
11	大阪府衛生検査所立入調査	堀田
13	第7回大臨技医学検査学会実行委 員会	安保、佐藤、是永 (Web)上田、豊田、藪、喜舎場
14	理事会	増田、梶、上田、山西、山田、安保、 谷川、岡本、上地、竹村、豊田、佐 藤、藪、是永、喜舎場、赤木、堀田、 柴、竹浦、高田 (Web)井戸田
15	組織部会	谷川、是永、堀田 (Web)上田
18	手話講習会 2023 (中級)	赤木
19	渉外部会	岡本、喜舎場、赤木 (Web)上田
20	総務庶務・広報編集・会計部会	梶、山西、上地、山田、豊田、佐藤、 藪、是永、喜舎場、赤木、堀田、増田
22	精度管理部会	山西、竹村 (Web)是永
23	日臨技災害対策	増田、高田
25	第7回大臨技医学検査学会実行委 員会	安保 (Web)上田、豊田、佐藤、藪、是永、 喜舎場
26	日臨技 近畿支部医学検査学会 (第63回) 実行委員会	増田、上田、梶、山西、安保、上地、 竹村、豊田、佐藤、是永、喜舎場、赤 木、井戸田、竹浦、高田 (Web)山田、岡本、藪、堀田
27	常務理事会	増田、梶、上田、山西、山田、安保

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉（報告者：梶副会長）12月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）2024年新年互礼会最終確認をした。
- （2）会長賞について検討した。
- （3）2024年度総務庶務部予算案について検討した。

〈広報編集部〉（報告者：山田常務理事）12月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）大臨技ニュース12月号 Web 版を発行した。
- （2）大臨技ニュース1月号（第420号）の編集作業を行った。
- （3）ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉（報告者：増田会長）12月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）事務員12月給与を支給した。

3. 事業局

〈渉外部〉（報告者：上田副会長）12月19日（火）Web 会議併用にて開催した。

- （1）2023年度大放技大臨技合同フォーラムについて進捗状況を確認した。
- （2）2023年度冬季献血推進活動（通算61回）について進捗状況を確認した。
- （3）第3回疾患予防セミナーについて検討した。
- （4）第19回府民健康フォーラム開催日程について検討した。
- （5）2024年度渉外部事業について検討した。
- （6）第18回府民健康フォーラム開催報告を行った。
- （7）新委員3名加入を報告した。
- （8）渉外部備品確認を行った。
- （9）理事会報告を行った。

〈組織部〉（報告者：上田副会長）12月15日（金）Web 会議併用にて開催した。

組織部地区責任者合同会議

- （1）2023年度事業の進捗状況を報告した。
- （2）タスク・シフト講習会受講後アンケートの実施について、理事会決定事項を報告した。
- （3）認知症講習会について協議した。
- （4）新入会員研修会について協議した。
- （5）2024年度開催事業（組織部・地区事業）について共有した。
- （6）地区事業（北・南）の開催報告を行った。

〈学術部〉（報告者：安保常務理事）12月5日（火）Web 会議併用にて開催した。

- （1）第7回大臨技医学検査学会の進捗報告、実務委員の協力を依頼した。
- （2）令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会の進捗報告、特別企画案を依頼した。

(3) 学術部再編成について報告した。

(4) 備品台帳について。自部門で管理している大臨技備品があれば報告するよう依頼した。

(5) 理事会報告を行った。

〈精度管理部〉(報告者：竹村理事) 12月22日(金) メール会議を行った。

(1) 標準化サーベイ報告書作成について検討した。

(2) 標準化サーベイ報告会について検討をした。

(3) 来年度標準化サーベイの日程等について検討した。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について(会長・副会長・常務理事)

(1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、山田常務理事、安保常務理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。

(2) 2023年12月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2023年12月事業開催状況報告について(梶副会長)

(1) 上記について資料が示され確認した。

3. 2023年11月予算執行状況について(柴監事)

(1) それぞれの部門予算に対しての平均執行率はおよそ84%である。

(2) 年間予算に対しては59%しか費やされていないので残額の予算の執行をお願いした。

4. 上場会社の監査役就任について(柴監事)

(1) 1月下旬に上場会社の監査役に就任された。

(2) 略歴・兼職を開示する必要があり大臨技監事である旨の掲載をすることが報告され承認された。

5. 令和6年新年互礼会について(上地理事)

(1) 141名の参加で参加費収入が630,000円、祝儀が105,000円であった。

(2) ホテルからの請求は1,473,845円であった。飲料に関しては飲み放題にせず消費した分だけの請求にしたことで48,000円減額できた。

(3) ご祝儀や・祝電をいただいたところへお礼状を発送する予定である。

6. 第63回日臨技近畿支部医学検査学会について(上田副会長)

(1) 12月26日に開催された第2回実行員会の議事録が示された。

(2) 上地理事が作成した趣意書が提示され今後の修正部分を示した。豊田理事の予算書とすり合わせを行いそれを基にランチョンセミナーの企画などを検討する。

(3) クロークの設置と企業展示の30社分を確保できると報告された。

(4) ポスター案の中間投票結果が示された。

(5) 特別公演に蓬萊氏を予定しており11月3日なら予定が空いているようで予算

10 万円で折り合いがつくか現在交渉中である。絵本販売やサイン会も行えるということを進めている。

7. 2023 年度事業変更申請について（梶副会長）

（1）公 2 事業では検体管理システム部門から総合管理部門に変更し、スタートセミナーを記載していなかったのを追加した。

（2）他 1 事業では技師長会の廃止と機関紙（大臨技ニュース）の発行を電磁的方法で行うということを追加した。

（3）上記変更に伴い体系図も変更した。大阪府からの審査結果はまだである。

8. チーム医療部門の再編について（上田副会長）

（1）組織部のチーム医療部門を学術部へ移して緊急検査部門との統合を考えていたが大阪府への申請受理が困難であろうと考えられるので今回は学術部への編入のみとする。

（2）緊急検査部門との統合については今後も検討していくと報告された。

9. 令和 6 年度の日臨技関連事業について（梶副会長）

（1）日臨技より生涯教育推進研修会助成、都道府県技師会主催「リーダー育成講習会」の開催支援、全国「検査と健康展」開催経費、「地域ニューリーダー育成研修会」の開催、総会議決権行使促進事業に予算計画されていると報告があった。

（2）日臨技関連事業予算を考慮して大臨技事業でも予算計画をした。

10. 日臨技会長選の結果について（梶副会長）

（1）横地常広氏は 17,467 票、長沢光章氏は 15,210 票で横地氏が当選された。

（2）大阪府は投票率でワースト 2 位であった。竹浦参与より大阪の立場を考慮して投票率の改善について考えるように意見があった。

11. 令和 5 年度大臨技会長賞について（上地理事）

（1）会長賞表彰状の文面が示された。表彰状は盾に入れて授与する。

（2）図書カード 10,000 円分をつける。

12. 2024・2025 年度大臨技役員候補者選出委員会について（梶副会長）

（1）1 月 18 日に予定していたが委員長が体調不良のため 2 月 1 日に変更された。

（2）役選委員メンバーと梶副会長が出席する予定である。

（3）大臨技ニュースに理事立候補受付を告示→理事候補届出書を提出→欠員が出た場合は理事候補者推薦届出書を提出する。

13. 予算流用申請について（豊田理事）

（1）学術部企画より学術部免疫化学部門からの 15,000 円の流用申請が出ており受理されていると報告があった。

14. その他

（1）大臨技医学検査学会での理事の参加について（安保常務理事）

・PassMarket で実務委員として参加登録を依頼した。

- ・理事へ施設での参加の呼びかけをお願いした。
- (2) 大臨技・大放技合同フォーラムについて（喜舎場理事）
- ・1月20日に開催予定であり合同フォーラムと懇親会へ参加のお願いをした。
- (3) 日臨技会長選の投票率について（赤木理事）
- ・他府県で投票率が高い原因はなぜかと質問があった。
- ・竹浦参与よりメール配信だけでなく電話依頼や研修会での呼びかけなどの努力が必要であると助言があった。
- (4) クロネコゆうメールについて（梶副会長？or 北岡事務員？）
- ・2024年2月1日より「クロネコDM便」が取り扱い中止となり、新たに「クロネコゆうメール」が導入され郵送費が上昇することが報告された。今後の対応を検討していくこととした。
- (5) 2025年大阪・関西万博催事について（増田会長）
- ・現在、申込み済みで結果待ち状態であることが報告された。

IV. 議 題

1. 2024年度事業計画（予算審議会用）について（梶副会長）
 - (1) 予算審議会用の事業計画を確認して承認された。
 - (2) チーム医療部門が学術部に編入される。
 - (3) 検体システム部門が総合管理部門に名称を変更する。
 - (4) 3月末に大阪府へ提出する事業計画は別途詳細なものを作成している。
2. 2024年度事業予算について（北岡事務員）
 - (1) 予算作成時に過去においては収入と支出が同じ金額になるように指示されていたが以前の様式では収入が多くなならない不自然な様式であった。今年度は支出には必要な経費と収入には過去の実績を鑑みて予算書を作成してもらった。
 - (2) 従来、吹田・摂津健康展を北地区委員が務めており予算は渉外部に計上するというねじれの構造があったが今年度からは北地区の予算に計上している。
 - (3) 新入会員研修会はボーリング代と飲食代が計上されて昨年より197,000円多いが審議する時間がないので今年度は申告通り予算を充てるということで承認された。
 - (4) 意見交換会の回数について病理は最初の予算書提出では11回であったが公益法人であるということを考慮して再提出をお願いすると4回になった。過去においては生理検査部門が23回行っていた。今後上限回数を設ける方がいいと柴監事から助言があった。
 - (5) 精度管理部門のサーベイ報告会の会場費と生理検査部門の会場費が入力されていないので確認する。→生理検査部門は無償の会場を使用予定である。
 - (6) 病理部門は試薬や検査機の賃借料が計上されて経費が昨年より359,000円増

加している。

3. 2024年度大臨技予算審議会について（梶副会長）

（1）1月24日に各部門から提出された予算書と事務所の収入・支出と合算した資料（柴監事作成）をもとに検討し2月の理事会で決定する。

（2）事業計画についても検討する。

（3）常務理事と各部門の部長と監事が出席する。

4. 令和6・7年度日臨技理事推薦について（増田会長）

（1）3月15日が推薦提出期限である。現在は高田参与が務めておられる。

（2）増田会長と高田参与で相談のうえ来月の理事会で決める。

5. 第73回日本医学検査学会座長推薦について（増田会長）

（1）管理運営分野は佐々木伸也氏、病理分野は和田恭典氏、免疫化学分野は井尻健太郎氏、公衆衛生分野は増田会長を推薦することが承認された。

6. 第7回大臨技医学検査学会の予算について（安保常務理事）

（1）企画費や意見交換会費用などを加算した予算書が示され655,000円の不足となったが増額が承認された。

（2）前年度予算建て時に誤った可能性がある。次年度以降は予算計画するときに実績を鑑みて予算をたてる。

（3）2024年度は開催の予定はなし。